



報道各社 御中

## 表現する「5階」が集まる団地へ 自由な個性を発揮する場が”すぐ近く”にある暮らし アーティストによるモニター居住も始動 UR都市機構 x 取手アートプロジェクト(TAP) 取手井野団地 新企画住戸コラボレーション事業のご案内

このたび、取手アートプロジェクト(TAP)は、2010年度から継続してきた《アートのある団地》のさらなる展開として独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)と連携し、「日常のすぐ近くでさまざまな人びとの表現が営まれる団地」を実現することを目指した新たなプロジェクトを公開します。

この12年間のTAPコアプログラム《アートのある団地》では、郊外のまちには多様なルーツを持つ人びとが暮らしていることを踏まえ、芸術家と地域住民にアートプロジェクトを通じた多様な関係性を生み出し、個性をもった個々人が地域に関わることのできるコミュニティ創出の実験に取り組んできました。

今回TAPでは、UR都市機構が新たに手がける団地上階の自由な活用を広げる新企画住戸の公開と連動して、これまでの活動を一步進め、「暮らす」形で創造的な活動を生み出す担い手が地域に関わる仕組みづくりに挑戦します。舞台となる取手井野団地での5階空間では、芸術家がモニターとして居住し、他者との関わりも生み出しながら空間を創造的に活用し始めています。2024年1月13日(土)に開催する「郊外のアートな暮らし探訪ツアー」では実際の拠点をご紹介します。

「自由に個性を伸ばす場所」が生活空間と階段一つでつながる。団地での新たな暮らしの実験プロジェクトに芸術家はもちろん、地域で創造的な活動を求めるさまざまな立場の方々に、この実践にご参画いただきたく、ぜひご取材くださいますようお願いいたします。



お問合せ先 取手アートプロジェクト実施本部(担当:羽原、遠藤、中嶋)

電話:0297-84-1874(火・金13-17時・4-7月および10月-1月は平日10-17時対応)

FAX:0297-84-1875 E-mail: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>



## プロジェクト紹介および現地公開のご案内

ご取材いただくメディアのみなさまに向けて、以下の方法でプロジェクトを公開いたします。ご都合のよい形をお選びいただき、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 【A 現地ブリーフィング(メディアのみなさま向け)】

日時	2024年1月13日(土) 10:30～11:30
場所・アクセス	いこいの+TAPPINO 住所:茨城県取手市井野団地3-19-104 井野ショッピングセンター内 *公共交通機関でお越しの場合:取手駅東口3番バス乗り場から井野団地循環乗車、「井野団地」下車すぐ *お車でお越しの場合:井野アーティストヴィレッジ裏のオレンジラインの場所に停めていただけます。数が限られているため、満車の場合は旧井野小学校校庭をご利用ください。
内容	TAP・UR担当者が本プロジェクトについてご紹介しご質問を受け付けます(30分程度予定)。その後実際のモニター居住の部屋、募集が開始される部屋などをご覧いただけます。モニター居住者へのインタビューも可能です。(自由解散)

### 【B 郊外のアートな暮らし探訪ツアー(一般公開)】\*プレス先行受付・2024年1月1日一般申込受付開始

日時・集合場所	2024年1月13日(土) 13:00～17:00 JR取手駅西口改札前集合 *市内はバスにて移動します。*団地1Fから5Fまでの階段の往復が数回あります。
行程概略	市内アートスポット訪問:芸術家のシェアスタジオなど、アートのまち・取手市に点在する芸術家の活動拠点ほかを訪ねます。 団地内見学:モニター物件や新企画住戸の見学ができます。地域のハブとなる活動拠点や団地内のスタジオを訪問します。 新しい団地の暮らしトークセッション:団地で活動する芸術家・アートNPO・UR担当者が自分らしく楽しむSFでの暮らしについてお話しします。
ツアー予約・ お問合せ先 (一般への 公開情報)	(一般の方申し込み)取手アートプロジェクトWEBサイトから <a href="https://toride-ap.gr.jp/lifeinsuburb_tour20240113">https://toride-ap.gr.jp/lifeinsuburb_tour20240113</a> *定員15名。定員に達し次第締め切り。 時間 10:00～17:00 *土日祝・年末年始(12/29～1/3)を除く (電話)0297-84-1874 (WEB) <a href="https://toride-ap.gr.jp">https://toride-ap.gr.jp</a>



お申し込み方法: \*前日までにお問い合わせいたします。

ただしBでの取材は、ツアーバスに同乗できる人数に限りがありますので先着順となります。

メール([tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp))またはFAX(0297-84-1875)で次の内容をご連絡ください。

1. お名前
2. 貴社媒体名(ご所属)
3. ご参加の回( A ・ B )
4. ご連絡先お電話番号



## 参考情報

### 1: 取手アートプロジェクト コアプログラム《アートのある団地》について

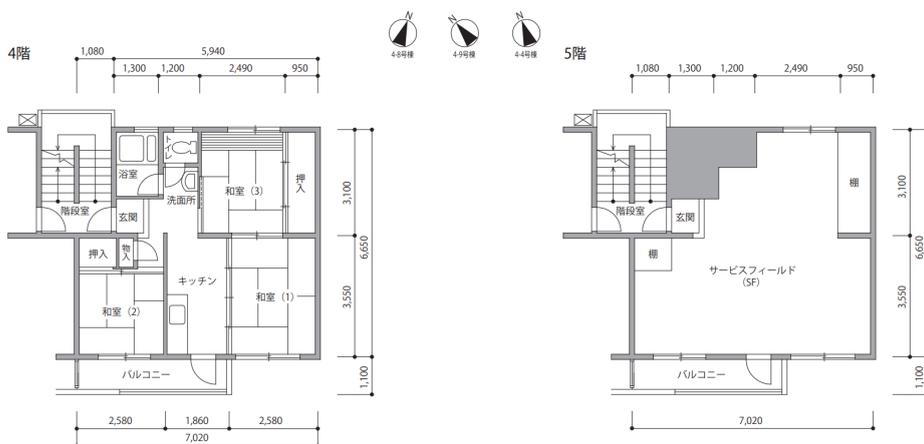


2010年からTAPが取り組む団地を舞台としたアートプロジェクト。日々営まれる生活のすぐ近くで、パートナーアーティストと住民が接触／共鳴しながら実験的な表現活動を行うことで、新しい表現や未知のコミュニティが生まれることを試みています。

進んできた道も、年齢も、生活のかたちも異なる、さまざまな人びとが暮らす「団地」。その暮らしの中に表現の営みを育てることで、郊外都市だからこそ見出せる、これからの時代を生きる新しい価値観の可能性を探っています。活動拠点「いこいの+TAPPING」は、取手市高齢福祉課のお休み処事業とTAPのアートプロジェクトの拠点として取手井野団地自治会・取手地区民生委員・NPO法人TAPオフィスが連携して2011年から運営しています。

### 2: 取手井野団地 新企画住戸 サービスフィールド(SF)付住宅について

取手井野団地を舞台にUR都市機構が初めて実施する、内装・間仕切り・設備などを撤去し自由度の高い空間にリノベーションした上階のSF(5階)と、生活の本拠となる直下階住戸(4階)の2戸をセットとする新プラン。SFは自由度の高い空間で、キッズスペース、映像鑑賞・筋トレなどの趣味に没頭できる場、好きなものに囲まれた癒しの場、在宅ワークなど、アレンジ次第でさまざまな使い方が可能です。なお、生活の本拠となる下階では電気、ガス、水道を使用することができますが、SFでは水道、ガス設備はございません(電気のみ使用できます)。 \* 2024年1月20日(土)より入居者募集開始



5F



4F

4F 生活拠点

5F サービスフィールド

### 5階を自由な”場”として使う、創造的な暮らしの実践:



## 趣味やストレッチ、創作まで、好奇心を通じて個人が地域ともつながる場所へ

### 地域に関わる”ひと”の更新

今回の展開を通じて、今後取手井野団地に5階をさまざまに活用する住民が増えていくことを期待しています。特に、ご自身の活動を地域とシェアしたいと考える居住者の希望があれば、TAPでは地域で連携して運営する福祉と芸術の拠点「いこいの+TAPPINO」や団地内の公園等で活動を共有できる仕組みをTAPがオーガナイズします。これまで



の団地活動で試みてきたリソース(人的ネットワーク・団地での事業運営ノウハウ)を居住者の希望に応じて伴走しながら提供していき、地域の活動に広がりを持たせ、次世代が地域で無理なく活動できるコミュニティの仕組みづくりを試みていきます。

### 団地の課題と取手の特徴を活かし、誰かのウェルビーイングに関わる暮らしへ

TAPが本プロジェクトへの参画に至った背景には、団地での12年超の活動で実感してきた団地という地域の特徴と課題があります。課題としては、自治組織の高齢化、コロナを経ての地域活動の萎縮などがありますが、団地というさまざまな文化的ルーツを持つ人が関わり合うことで未知の活動が生まれることがコミュニティを複層的にし、そこに暮らす人のQOL・ウェルビーイングにつながりうることは実践を通じてつかんできたことです。井野アーティストヴィレッジという芸術家の共同アトリエがあること、また取手には多くのアーティストが”生活”している地域背景も資源ととらえます。

「取手井野団地の”5階”に好奇心を刺激される活動がいくつも生まれていく」というワクワクを地域にも共有し、これまでに団地での活動でTAPが蓄積してきた関係性も生かしながら、人々の好奇心とともに地域が更新され循環する、持続可能な団地が立ち上がっていくことを期待しています。

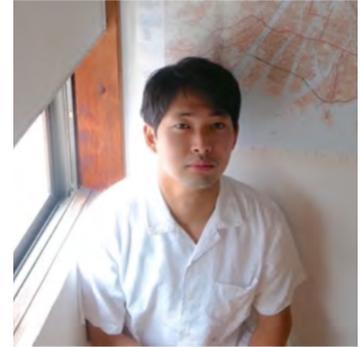




モニター居住 参加アーティスト／TAPアートのある団地 パートナーアーティスト

平井亨季(ひらい・こうき)

1996 広島県生まれ  
2015 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 入学  
2019 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 卒業  
2019 東京藝術大学大学院 映像研究科 メディア映像専攻 入学  
2021 東京藝術大学大学院 映像研究科 メディア映像専攻 修了



映像や本、ドローイングを主な表現方法として、制作・発表する場所で可能なことを探って作品を作っている。文化・自然地理学的な視点から制作することが多く、地形の類似や人の流れを頼りに土地を巡り、それぞれの地誌を読み解き、リニアな歴史観や近代的な区分を読み替えることを主題としている。

井野アーティストヴィレッジ104メンバー。

<https://kokihirai.com/>

事業連携・団地管理・SF付住戸企画：独立行政法人都市再生機構

————— 街に、ルネッサンス —————



UR都市機構

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考

えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。 <https://www.ur-net.go.jp/>

企画・運営・問い合わせ先：取手アートプロジェクト(TAP=Toride Art Project)



TORIDE ART PROJECT

取手アートプロジェクトは、1999年より市民と取手市、東京藝術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。芸術による文化都市を目指す取手のまちをフィールドとして、アーティストの活動支援と、市民の芸術体験・創造活動の仕組みづくりにより、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。 <https://toride-ap.gr.jp>

お問合せ先：取手アートプロジェクト実施本部

(事務局：NPO法人取手アートプロジェクトオフィス 担当：羽原、遠藤、中嶋)  
電話：0297-84-1874(火・金13-17時・10月-1月は平日10:00-17:00) FAX：0297-84-1875  
E-mail：[tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) WEB：<https://toride-ap.gr.jp/>